

## 町民を本気にさせた発表会



ブルーベリーの収穫  
(島根県立横田高校だんだんカンパニー)

「東京はあまり地域に密着することがないから、このような地域課題解決に取り組む経験をしたことがありません。地元で21年間ずっと住んでいます。私の元々の課題はわかりません。それに比べて、高校生のみなさんは地域についてよく考えていて地域愛を感じました。羨ましいです!」、自分はそのプロジェクトが成功しそうかしなさそうかを考えて

しまし、何か良い案が出てもし彼らは実現可能性に問わず自分が興味を持った分野で最大限に考えプレゼンを作り上げていて素直に見習うべきだと思った。」

これらは、島根県立横田高校の生徒と私の勤務する青山学院大学の学生の交流の後に大学生が高校生に送ったメッセージの抜粋です。

高校生が地域の課題を研究したり、地域貢献活動をしたり、あるいは地域で起業したりすることは、今では珍しいことではありません。横田高校では、生徒が「だんだんカンパニー」(「だんだん」は方言でありがとう)という仮想会社を立ち上げて、ブルーベリーを生産・加工して無添加ジャムを作ったり、地元



地域の人の指導で仁多米のハデ干し(天日干し)(島根県立横田高校だんだんカンパニー)



青山学院大学  
教育人間科学部  
教育学科 教授

樋田 大二郎